



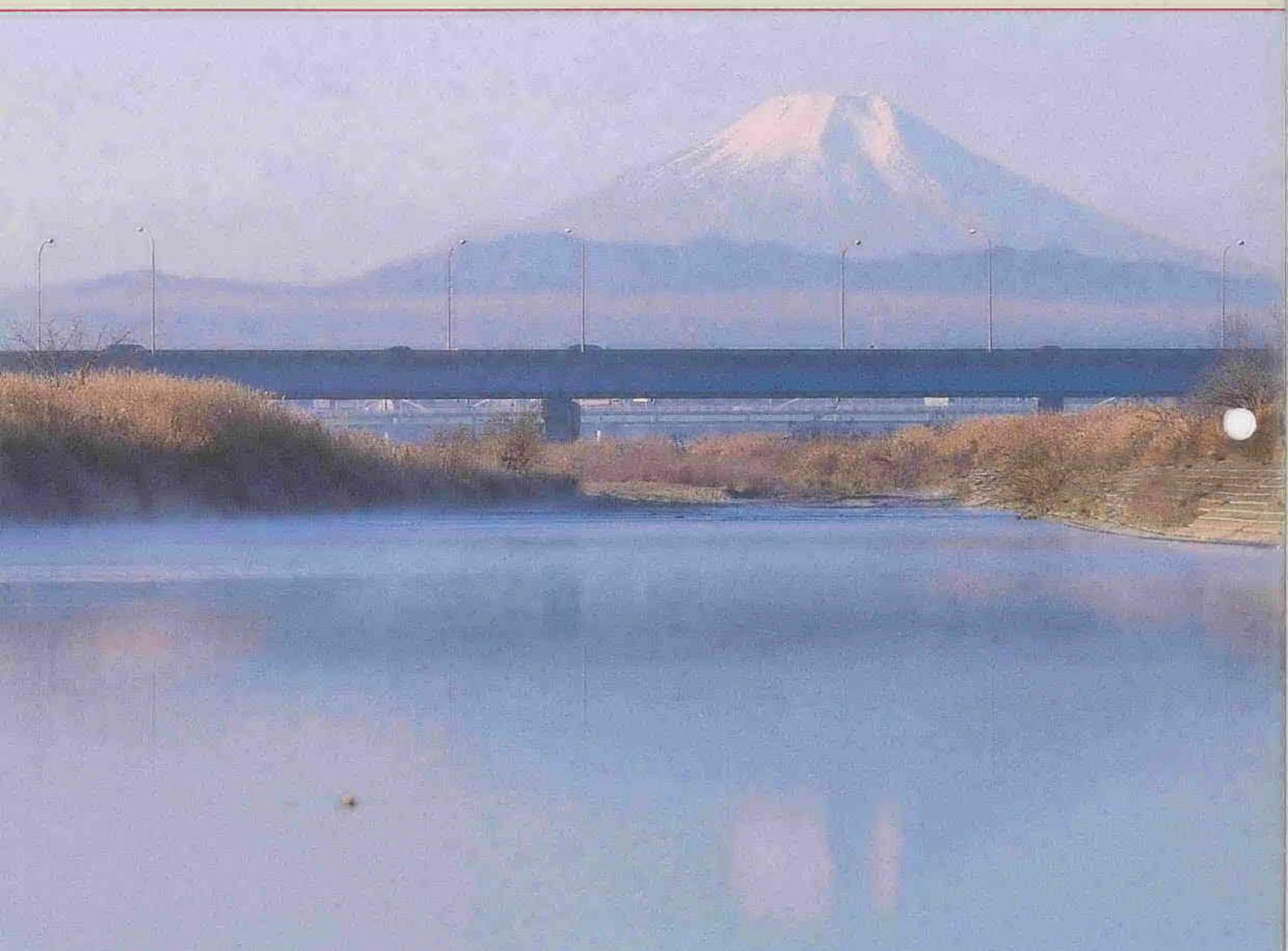
川 越

No.998

平成13年1月10日

迎春

入間川上流に富士山を望む（的場）



スマイルシティ・川越

<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>



二十一世紀にむけて

川城市長 舟橋功一

市民の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい平成十三年の、そしていよいよ二十一世紀の幕開けとなる新春を健やかにお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、常日ごろから、市政に対しまして温かいご支援とご協力をいただいておりますことに、心から厚くお礼を申し上げます。

さて、この二十一世紀を迎えた今日、地方自治をめぐる状況は、これまでになく大きな変化があり、川越市もまた新たな飛躍を遂げようとしています。

特に、地方分権がいよいよ実行に移される段階となりました。私は、かねてから、行政が提供するサービスは、できるかぎり市民の身近なところで実施され、さらに、より多くの事務が処理されることによつて地方行政の充実を図る必要があると考えております。

この地方分権の実行の段階において、川越市に最も大きな影響を及ぼすものは「中核市」への移行であります。

これまでから、行政が提供するサービスは、できるかぎり市民の身近なところで実施され、さらに、より多くの事務が処理されることによつて地方行政の充実を図る必要があると考えております。

ちづくりを進めてまいります。

このように川越市が、国の制度や施策に位置づけられるようになつたことは、これまで市民の皆様とともに進めてまいりました川越らしいまちづくりが、国においても高い評価を得たものと考えられます。さらに個性豊かで主体的なまちづくりを積極的に推進し、魅力ある都市の実現を目指すことによって、市民の皆様にも川越市に暮らしていくことに喜びと誇りを持つていただけるようにしてまいりたいと考えております。



川越市ホームページ
私は、産業や学校教育・文化・行政などのあらゆる分野に情報通信技術を応用するIT革命（*）に対応し、その先駆けとして電子市役所を目指し、積極的な対応を国つていきたいと考えております。

また、市民の皆様が、地域における文化活動などのために気軽に集い、触れ合える施設として、仮称北部地区文化施設の建設に着手いたします。

さらに、ご要望の高かつた美術館につきましても、市立博物館の隣接地に設置することとし、市民の皆様に大いにご活用いただけるような美術館を目指して建設に着手いたします。

昨年四月から始まつた介護保険につきましては、円滑な制度の運用に努め、その仕組みをお知らせしながら、ご理解、ご協力をいただけるよう努めてまいります。

川越市は、平成十四年に市制施行八十周年を迎えます。そのため、本年は市民の皆様とともに実行委員会を設置し、記念事業の実施に向けて準備を開始いたします。

市を取り組んでいるさまざまな施策は第二次川越市総合計画に位置づけられて計画的に推進されており、今年度で前期基本計画が終了いたします。そして、平成十三年度から新たに後期基本計画がスタートします。

川越市は、平成十四年に市制施行八十年を目標としています。川越市は、平成十五年度の中核市移行を目指しています。

それでは、本年実施を予定している事業等につきまして、その概要を述べさせていただきます。

一トいたします。まさに二十一世紀のスタートにあわせた、新しいまちづくりの指針となるものであります。

また、市が実施している事業について、その効果を適切に測定し、予算や人員を効果的に配分することができるよう、政策評価に関する基礎調査を実施いたします。

中核市とは、十二の政令指定都市に次いで多くの権限を持つことになる都市制度で、全国ではすでに二十七市が指定され、川越市を含め七市が準備を進めており、県内では川越市ののみが要件に該当しております。

現在、平成十五年度に中核市へ移行できるよう、権限委譲される約三千の事務について調査・研究し、準備を進めているところであります。

中核市への移行に伴つて市立保健所の設置が必要となりますので、保健所準備室を設け、県との連携を図りながら開設に向けた準備に取り組んでいます。

また、一昨年三月に策定された国の第五次首都圏基本計画において、新たに「業務核都市」として、川越市が位置づけられました。現在、業務核都市としてふさわしい施設や機能の整備について、その方針の策定を県とともに進めています。これにより業務・商業・文化・居住などの機能がバランスよく配置された、自立性の高いま

平成十四年度から完全学
校週5日制が実施されるこ
とに伴い、児童・生徒が家
庭や地域で過ごす時間が今
まで以上に多くなります。
そのため、地域における児
童館の整備を計画的に進め
ることとし、まず、建設を
進めている仮称川越駅東口
国書館分館等複合施設内に
設置します。この複合施設

には、老人憩いの家・国際交流センター・女性活動支援センター・二百席の多目的ホールを併設してまいります。

私は、地球規模での環境問題への取り組みが、今日的で重要な課題であると考えています。そのため、県内の市町村では初めて、環境管理システムの国際規格であるISO14001の認証を取得し、「1パーセント節電プラス1（ワン）運動」の展開、公用車への低公害車の導入、公共施設への太陽光発電システムの設置の推進などを積極的に行つてまいりました。今後も環境管理システムの着実な運用により、これまでの取り組みをさらに推進するとともに、全市をあげた環境施策を展開し、「環境に配慮した都市川越」を目指してまいりたいと考えております。

小江戸川越のシンボルである時の鐘は、平成八年、環境庁による「残したい日本の音風景百選」に選ばれました。本年は、この「残したい日本の音風景百選」の全国大会を川越市で開催し、全国的に川越市の取り組みをアピールしていきたいと思います。

昨年十一月、市内の交通渋滞の緩和などを目的としたパークアンドライドの社会実験を実施いたしました。本年は、駐車場の空き待ちなどで発生する渋滞の緩和を図るために駐車場案内システムの整



仮称川越駅東口図書館分館等複合施設完成予想図

備に向けた検討に着手するほか、環境に配慮した郊外型駐車場の設置に、引き続き取り組んでまいります。
駅施設の改善につきましても、引き続き鉄道事業者に対して働きかけてまいりますが、本年は南大塚駅にエレベーターが設置される予定であります。

長引く景気の低迷が、市民の皆様の生活にも深刻な影響を及ぼしています。私は引き続き、厳しい経済情勢下でご苦労されている中小企業者の皆様を対象に、川越市独自の中小企業経営安定化資金融資として、約十億円の特別融資を実施するなど、市民生活の安定と地域経済の活性化に鋭意努めてまいりました。

また、新たな産業の創出を図るため、起業家を育成支援する制度融資として「起業家育成資金融資制度」を新設し、産業の活性化を図つてまいります。

本年は観光の拠点施設として、仮称お祭り会館の建設に着手し、いつそうの観光の振興に努めてまいります。



11月3日～5日に行われた、パークアンドライドの社会実験

街路整備につきましては、市立博物館前の三田城下橋線と、川越駅東口の通称アカシア通りと呼ばれている市内循環線の整備を進めています。
また、主要な交差点に右折帯を設けるなど、交差点改良事業を推進し、慢性的な交通渋滞の解消を図つてまいります。

駅周辺の整備につきましては、川越駅西口地区画整理事業の第二工区の整備を引き続き推進するとともに、本川越駅と川越市駅周辺の整備計画の策定に着手し、両



仮称仙波河岸史跡公園用地

駅の西口の開設や連絡道路の整備などによる乗り換え時の利便性の向上などについて検討してまいります。霞ヶ関駅につきましても、仮称北口の開設に向けて事業に着手してまいります。

公園整備につきましては、市民の皆様の身近なところに公園が確保できるように計画的な整備をさらに推進するとともに、新河岸川の舟運の歴史を今にとどめる仮称仙波河岸史跡公園の整備を推進し、生態系に配慮した自然と親しめる史跡公園としてまいります。

初雁公園につきましては、

今後富士見櫓の再建を図り、市民の皆様や観光客の方々に川越の歴史について学んでいただけるようにしていきたいと考えています。

また、仮称森林公園につきましては、段階的な整備を国つていくこととし、貴重な武藏野の面影を残す樹林地の保全を図りながら、市民の皆様が散策など自然と親しめる公園づくりを進めてまいります。

火災その他の災害時における安全の確保を図るために、消防力の充実が欠かせません。一刻も早く火災等の現場に到達できるようにするためには、職員の訓練や消防車両等の計画的な整備のほか、消防施設の整備も重要です。

本年は、新たに仮称名細分署

の建設に着手し、いつそうの消防力の充実に努めてまいります。

市民の皆様の生涯学習活動を支援するために、公民館や図書館などの計画的な整備を推進しておりますが、霞ヶ関北小学校の移転にあわせての改築で図書館と公民館を併設し、すでに建設に着手しております。

さらに、高齢地区に計画している公共施設につきましても、出張所と公民館のほか、図書館の分館などを設置してまいります。

市民の皆様が年齢や体力に応じて、気軽にスポーツ・レクリエーション活動に親しめるような環境をつくるため、昨年は、西文化会館のそばに西原公園を、また卸売市場の隣に約一万四千平方メートルの規模の大東健康ふれあい広場を開設いたしました。また、学校や地域社会と連携し、子どもから高齢者までの幅広い年齢のスポーツを愛好する人々が、さまざまな種目のスポーツに取り組める総合型地域スポーツクラブの育成に努めてまいります。

私は、これまで二期八年間にわたって市民の皆様のご信任をいただきながら、変化する時代に適応し、着実な市政運営に努めてまいりました。特に、市民の皆様が市政を身近に感じていただけるよう広聴課を新設し、市民目安箱や市政懇談会などあらゆる機会を通じて市政に対して直接ご意見をお聞きする機会を設け、市民の皆様に開かれた市政に努めてまいりましたところであります。今後とも皆様からの貴重なご意見やご提言をいただきながら、「福祉充実住みよい環境歴史生かした（産業の）活性化」を、私の市政運営の視座に、「住み続けたい・住んだことに誇りを持てる川越」の実現に向か、真に市民の皆様の立場から、市民の皆様の手の届く市政の運営に全力を傾注してまいりますので、なおいつそうのご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。

もしもしコーナー 139

あとだむ

Q 正月に食べるのはどうしてですか。

正月料理をおせち料理と呼ぶのはどうしてですか。



マンリョウ



川越運動公園で撮影

「センリョウ・マンリョウ・アリドオシ」など、赤い実のなる木は、縁起のよい木として、昔から親しまれてきました。マンリョウの名の由来は、センリョウ(千両)よりも実や葉がりっぱで美しいことから、千の位の上のマンリョウ(万両)からきています。

江戸時代からたいへん人気があり、園芸用として鉢植え栽培されていたマンリョウ。現存する品種は当時ほど多くありませんが、センリョウと同様、正月飾りとして使われています。

一昨年から始まった一番街通りの創作門松。

その中にも、センリョウ・マンリョウを使ついたいきな

門松が見られます。探してみてはいかがでしょうか。

「おせち」とは「御節供」を略した言い方です。もともと御節供は、平安時代ごろ、宮中の節日(二月一日・七月三日・五月五日など)を祝つて食べたごちそうのこと。その後、しだいに簡略化され、正月料理だけを「おせち」と言うようになったといわれています。今でも正月におせち料理を食べるには、そうした宮中のしきたりが民間に広まり、伝承されてきたからなのです。

そして、時代の変化とともに、承されたからなのです。

「正月の三が日は、女性が家事を休むことができるよう」または「正月の水仕事は避ける」といったように、いろいろな意味がつけ加えられ、大みそかに通例となつたようです。

市内の旧家には、昔ながらの方法でおせち料理や雑煮などを作り、正月を祝つている家があります。こうした習慣などは、大切に後世に残し、伝えていきたいものです。

このシリーズは、平成十二年二月に読売新聞社編集局管理部長・田中正人さんを招いて行つた人権・同和問題講演会の要旨をまとめたものです。

路地裏の人権④

同和教育シリーズ

同和対策課対策係 内線22282

差別しないつもり

今でも私は、路地裏で次のようないますか、交わされていることばのやりとりです。「いやあ、悪い悪い、怒るなよ、そんなに。ちょっとからかってみただけじゃないか。別に法律違反しているわけじゃない、差別するつもりなんかなかつたんだから、そんなに怒るなよ。勘弁しろよ、今までおれは差別なんかしたことないじやないか。そのつもりはなかつたんだから」こんな会話をほんとうによく聞きます。笑いながらやつていることがよくあります。

また「自分は今まで差別なんかされたことはない、差別もしたことがない。今だつて差別するつもりなんかまつたくなかつた。だから自分は差別問題と関係ない」という話もほんとうに路地裏でよく聞きます。差別とは無関係。それはそれでその人にとつて結構なことなのかもしれません。

しかし、一人の人間のあり方として考えたときはどうでしょう?「自分は差別とは無関係であつても、世の中には被差別的な事柄がある」ということ、差別する人がいる。さまざまに被差別にまつわるいろんな事柄がある。

こういつた事柄について、何かをきつかけに一日のうちの一秒でもいいからほんとうに思いをはせてみる。自分は無関係であつても少しでもいいから思いをはせてみる。被差別的な事柄について、それが度重なつてくれれば、いつの間にか心の中に差別しないつもり、差別したくなる心が無意識のうちにはぐくまれてくるのではないか。たつた一秒だけれども思いをはせる。一秒後は忘れてしまつたけれど、思いをはせた。それが一秒でもあればもうしめたものだと思います。一つのきっかけができたわけですから。それが重なつていけば、思いをはせることが次から次へとあるかもしれない。時々が時々でなくなつてくるのではないか。いつの間にか心の中に差別しないつもりという、無意識の意識がはぐくまれてくるのではないか。つづく

みんなの作文



古谷小学校三年
田中小百合

平成十二年度川越市市民文化祭入選作品より

かにかくに果すべき勤め為し、了へて叙勲賜りぬ老更けにつ
庭の木に巣籠りをする鳩のゐて嵐に揺るる葉のひまに見ゆ
稻刈りの終りてコンバイン洗いいる庭に明るく十三夜の月

暑き夏断ち切る如き豪雨にも行かねばならぬ朝刊積みて
亡き父に手解き受けし包丁研ぎ還暦の今も感荷して研ぐ
いつにく夫より話しかくる検査結果待つ吾の傍へに
朝まだき清き井水を入れやれば稻穂さやかに背のびする如し

曼珠沙華一気に暮れてしまひけり
洗い干すもの皆白し秋ざくら
今日果てる虫かも知れず、一途なる

まぼろしの大本營跡すき原
曳く波に寄する波あり鰯雲
石榴の実誰にも氣兼ねなき暮し
教会に隣る女子高小鳥来る
母在らば糸車操る雁のころ

塩崎彩雲(新富町二丁目)

内田資郎(月吉町)
北川ふじ子(三久保町)
島田光洋(三久保町)

田中耕平(笠幡)
藤岡清一(霞ヶ関東五丁目)
村崎煙霞(霞ヶ関東四丁目)

望月英男(伊勢原町二丁目)
渡辺衛(新宿町四丁目)

水村素人(大袋)
鈴木久子(旭町三丁目)

塚本洋子(連雀町)
平山繁(神明町)
山田愛子(笠幡)

石山秀太郎(笠幡)
島村野青(砂新田三丁目)

牛窪又一(脇田本町)
鈴木喜久枝(宮元町)

永島菊治(西小仙波町一丁目)
恒成祥二郎(仙波町一丁目)

宮崎美与子(元町一丁目)
小名木たか子(豊田本)

水村秀子(大袋)

家ぞくはいいな
わたしは、お父さんとお母さ
と、言つてきます。わたしは、
妹は、いつも学校から帰ると、
お姉ちゃん、カードのデュエ
ルしようよ。
「うん、わかつた、それまでお
絵かきしているね。」
と、言います。お母さんが、
「たまには、りなにもかたせて

*ふりがなは広報室で付けました。

「いいよ、だけど、しゅくだい
終わつてからね。」
そう言うと、妹は、
「うん、がんばつて行つてきま
す。」
と、言つて家をですます。
妹は、いつも学校から帰ると、
お姉ちゃん、カードのデュエ
ルしようよ。」
「うん、わかつた、それまでお
絵かきしているね。」
と、言います。お母さんが、
「たまには、りなにもかたせて



振り込んだ牌は通ると信じてた
未来園へ二人で渡る長い橋
妻逝つて部屋の広さに一人待ち
おらが村和尚名士で生字引
事故現場一方的に悪にされ
年号を四つ跨いで母生きる
風を読みいつも主流の中に入
口喧嘩しながら腕をからめてる

募集要領

●募集作品

かい書で明記(鉛筆書き不可)し、すべての漢字にふりがなを付けてください。

短歌部門=当季雑詠3首(当用漢字・現代かなづかい)

俳句部門=当季雑詠2句(新かなづかいと旧かなづかいの別を明記)

川柳部門=雑詠3句(当用漢字・現代かなづかい)

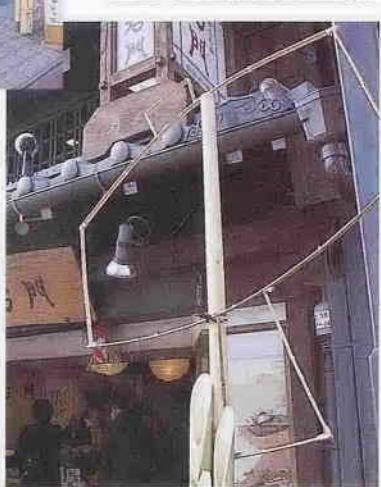
●応募規定

応募は市内在住の方、作品は未発表・創作のものに限ります。作品は返却しません。掲載にあたり、選者が手を加える場合があります。

応募方法…ハガキに部門・作品・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を明記し、〒350-8601川越市役所広報室へ郵送

締め切り…毎月末日(3月掲載分は1月31日必着)

順風に帆を揚げ、進む船。中央上部には「帆柱」が。



打ち出の小づち、福が飛び出しそう。

始まりは一对から

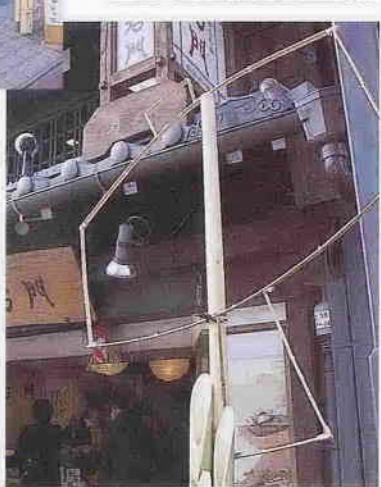
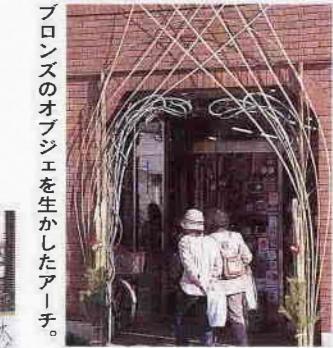
商店街で創作門松を飾るようになったのは、七、八年前に、一軒が創作門松を飾ったことがきっかけでした。普通の物とは異なる魅力を持つその門松を見て、商店街全体で飾ろうということになりました。始まった平成十一年度には十四対でしたが、年々数が増え、今年度は三十八対になりました。

職人の技が生きる

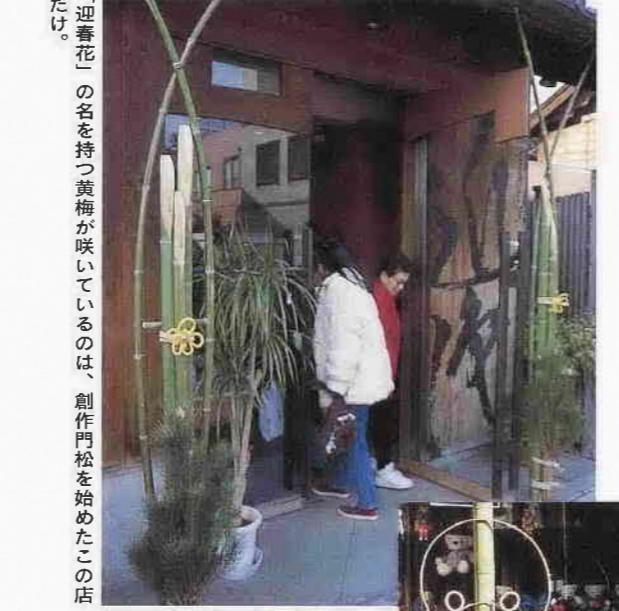
創作門松は、それぞれの店ごとに、店の屋号や商品などの特徴を生かして作られています。独創的なそれらの制作に取り組んでいるのが、造園業を営む小峯吉衛さん(54歳、南通町)です。どんなイメージで作るかはもちろんですが、店の敷地や間口に合わせ、どこに門松を立てるかも重要になります。「何度も店の前をうろうろしていて、店の人になじんで見られたこともあるよ」と笑う小峯さん。一番街には文化財の蔵も多いため、特に気を遣うそうです。「昔の職人は、仕事をするだけで終わりじゃなかつた」と言い、作つたあとの様子も気にかける小峯さんは、職人の心意気が感じられました。

まちを彩る創作門松

「創作門松」が一番街周辺に彩りを添えるようになってから、ことしで3年目を迎えました。思わずうなってしまうもの、ほほえましいもの、それぞれにくふうの凝らされた門松が、ふだんと異なったまちを演出。ことし、市が実施した「かわごえ都市景観表彰」でも、「都市景観ポイント賞」を受賞しました。正月ならではの「粹」の世界。その魅力の一部を紹介します。



美容院はカールがポイント？



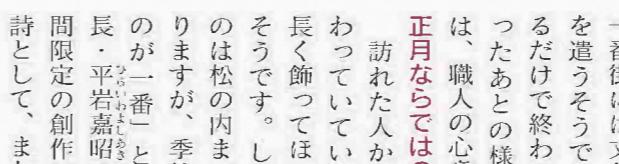
くま、くま、くま！

向かって左の鶴にはセンリョウ、右の亀にはマンリョウが添えてあります。



夜遅くまで門松を作る小峯さん。門松の数え方は2つを表す「対」ですが、小峯さんの創作門松には、1つだけの物もあります。

「吹き口」も付いている「笛」。



訪れた人からは「おもしろかった」「変わっていていいね」などのほか、「もっと長く飾ってほしい」という声も寄せられます。しかし、「もともと門松を飾るのは松の内まで。ことは一月八日まで飾りますが、季節のものは、そのときに見るのが一番」と、一番街商業協同組合理事長・平岩嘉昭さん(53歳)は言います。期間限定の創作門松。これからも正月の風物詩として、まちを彩ってくれるでしょう。

*飾られた門松は、平成12年1月に撮影したものです。



カントリーダンスの故郷・英国を訪ねて

柳下富美(70歳・霞ヶ関北3丁目)

青葉の美しい5月、イングリッシュ・カントリーダンスクラブの有志8人は、英國11日間の旅へ。カントリーダンスのメッカ、セシル・シャープ・ハウスにて、英國の方々と、ダンスの交流会。生伴奏のもの、エスコートのよきに「ポーツ」と。時のたつもの忘れる程、楽しい一時でした。

ロンドンの世界最大の観覧車に乗った感激。地下鉄にて、ミュージカル「オペラ座の怪人」へ。あまりの素晴らしさに拍手拍手。おとぎの世界さながらの、パッキンガム宮殿の衛兵交代。オックスフォード。ブレニム宮殿の広さ。シェークスピアの故郷。水鳥が泳ぐ小川が美しいバートン・オン・ザ・ウォーター。イギリスのグリーンの芝と赤レンガ、雨の大草原に寄り添つて群む羊たち。これらを見守る様に、悠々と流れるテムズ川。高速道路の無料、地下鉄切符で、24時間以内何回でも乗車OK。

「ああ、帰りたくない」と充実した親善旅行でした。

*ふりがなは広報室でつけました。

イラストコーナー



ERINA(15歳・今福)

まちのできごと
川越市の面積は109.16km²

川越の町並みのこれからは？

重要伝統的建造物群保存地区に選定されてから1周年が経過した一番街とその周辺地区。12月1日、記念行事として基調講演やパネルディスカッションがやまぶき会館で行われました。伝建指定は、到達点ではなく、出発点「これからも市民がみずから活性化を進めることが必要」など、活発な意見が交わされました。

自分らしく輝いて



ユーモアに富んだ話に、笑ったり、考えさせられたり

12月2日、やまぶき会館で「イーブンライフ in 川越」が開催され、音楽プロデューサー・山本コウタローさんと日本テレビアナウンス部長・石川牧子さんのトーク等が行われました。

「自分を一人称で語ろう」「ありがとう」と声に出すことが大切」など、実体験を交えての話に、約400人の観客は、熱心に耳を傾けていました。

みんなで楽しむジャズコンサート



みんなで演奏すると楽しい！

12月16日、大東南公民館で開かれた「知的障害者友遊クラブ・クリスマスジャズコンサート」には、障害を持つ方を始め、約50人が参加。本格的なジャズをゆったりと聞いたあとは、ドラムやビブラフォンの演奏に挑戦しました。コンサート後の昼食でも、それぞれが協力して準備をするなど、和気あいあいの会場でした。



わたしの旅日記

176

セシル・シャープ・ハウスにて

カントリーダンスの故郷・英国を訪ねて

柳下富美(70歳・霞ヶ関北3丁目)

青葉の美しい5月、イングリッシュ・カントリーダンスクラブの有志8人は、英國11日間の旅へ。カントリーダンスのメッカ、セシル・シャープ・ハウスにて、英國の方々と、ダンスの交流会。生伴奏のもの、エスコートのよきに「ポーツ」と。時のたつもの忘れる程、楽しい一時でした。

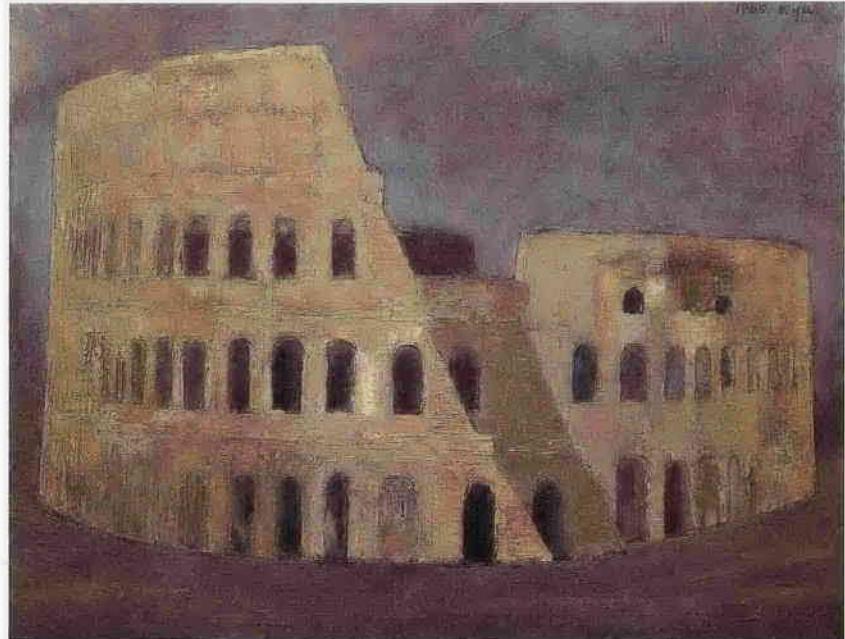
「どうもありがとう」とドクターにお礼を言うことも忘れません。おもちゃに手を伸ばし、しつかり抱きしめる子どもたちは、大切な思い出をも抱きしめているようでした。

「ああ、帰りたくない」と充実した親善旅行でした。

*ふりがなは広報室でつけました。

風の渡る大地

10



コロッセアム 100F 1965

昭和三十九年、ベネチア国際ビエンナーレ展を訪ねた相原求一朗さんは、展示された過去の抽象作品に当時ほどの魅力がなく、「これならむしろ、古典やロマンのほうが新しいではないか」と感じます。そして「時間が経過しても堪えられる仕事をしよう」と決意。古代の遺跡などに触れ、みずから作品が百年後・千年後にある姿を考えたかもしれません。「コロッセアム」は、翌年に開催した個展「ヨーロッパを主題として」に出品。画家が残したもののは、その意思とともに世紀を超えて伝えられます。



編集日記

激動の20世紀に別れを告げ、期待と不安の中、いよいよ21世紀への船出となりました。どのような100年になるのかまったく予測のつかないことがありますが、いずれにしても、今世紀のスタート時に生きる私たちの行動が、その方向性を定めることになるとと思われます▶川越市の21世紀のまちづくりとしては、平成15年度の中核市移行への取り組みがあげられます。地方分権のリーダーを目指す川越市としては、住民自治を担う市民の皆さんと協力し、いっしょにダッシュしたいと考えています▶2月10日発行の「広報川越」は、昭和26年の第1号発行以来、おかげ様で第1000号を迎えます。本年も、そして新世紀も、よりよい広報活動を進めていきますのでご協力をお願いします▶市民の皆さんのが充実した21世紀の初年を過ごせるよう、お祈り申し上げます。



表紙地図

広報川越 998

- 発行／平成13年1月10日（毎月10日・25日発行）
- 発行人／川越市長 舟橋功一
- 編集／川越市広報室 〒350-8601 埼玉県川越市元町1丁目3-1 ☎0492-24-8811内線3522
- 印刷／燃櫻井印刷所

TV わが街川越 番組ガイド

二十一世紀の新春に語る
新春にあたり、舟橋功一市長がまちづくりについて語ります。情報技術の目覚ましい発達により、生活に変化が予想される新時代。環境・経済などの課題に取り組み、だれもが安心して暮らせらるまちに向けた抱負をお伝えしていきます。



新春に語る収録風景（川越ケーブルビジョンスタジオ）

テレビ埼玉（38ch）

1月6日(土)・20日(土)／午前10時20分～10時30分
1月7日(日)・21日(日)／午後5時30分～5時40分

川越ケーブルテレビ（15ch）

19日(金)まで *1月20日(土)からは「わが街川越20年のあゆみ」を放送予定です。
4日(木)まで／午前9時00分～・午後3時00分～・午後8時00分～
5日(金)／午前9時00分～・午後5時30分～・午後8時30分～・午後11時30分～
6日(土)から／午前9時30分～・午後0時30分～・午後5時30分～・午後8時30分～・午後11時30分～

テプロケーブルテレビ（9ch）

1月21日(日)～27日(土)
午前6時30分～・午後0時30分～・午後4時30分～・午後7時30分～・午後9時30分～

*変更になることがあります。あらかじめご了承ください。